

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム <http://www.cleanaid.jp/>

● もくじ ●

- | | | | |
|------|--------------------------|-----|--|
| P1 | 報告・連絡会のご案内 | P9 | 荒川源流エコツアー 報告
/クリーンエイドを活用した環境学習 報告
/荒川いきもの四方山話 |
| P2・3 | 秋のクリーンエイド2010 実施速報 | P10 | 荒川市民パトロール隊の活動支援 報告
/荒川クリーンエイド周辺(生物)調査 速報
/寄付・協賛の御礼・お願い |
| P4・5 | 小松川自然地での連続プログラム 報告 | | |
| P6~8 | 秋のクリーンエイド会場から(新実施団体のご紹介) | | |

ご参加・ご協力ありがとうございました！

2010年の荒川クリーンエイドは、同年10月に名古屋で開催されたCOP10にちなんで、副題を「みんなで守ろう！生物多様性」を合言葉に秩父から東京湾まで10,675人、110会場の参加を実現しました。雨天のために中止されたところが10会場ありましたが、会場数及び参加者数ともに2009年度を超える結果となっています。各会場の参加人数などをHPで簡単に報告しています。

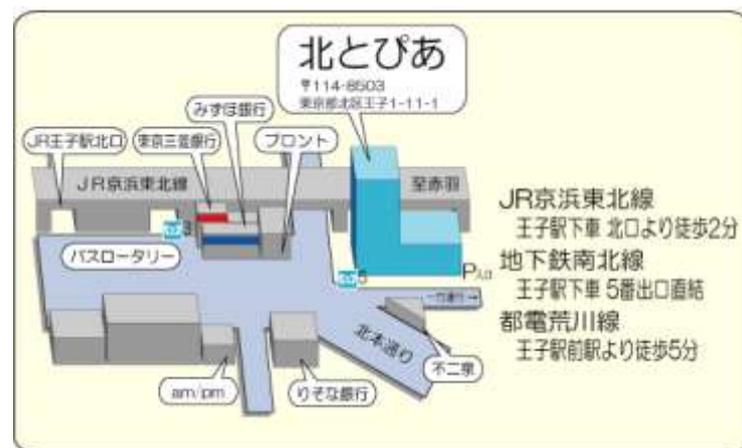
クリーンエイド活動以外では、水質調査、環境学習、源流エコツアーなどの諸活動に加え、2010年秋に初めて外来種の除草やヨシ刈りを小松川自然地で試験的に実施しました。



【荒川クリーンエイド2010リーフレット】

報告・連絡会のご案内

2010年の活動をふりかえるべく、「荒川クリーンエイド・フォーラム2010報告・連絡会」を開催いたします。2010年の活動や成果をふりかえり、次年度の活動に活かすにはどのようにすればよいか、皆さまと話し合える場にしたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。



【北とぴあ アクセス】

荒川クリーンエイド・フォーラム2010報告・連絡会

日時： 2011年2月16日(水) 13:30~16:30

※受付開始 13:10

会場： 北とぴあ8階 802会議室

対象： 荒川クリーンエイド実施団体のキャプテン(または代理の方)、その他会員、当会の活動に関心のある方
 内容：

第一部 報告会： 2010年の活動報告
 ……実施概況の説明、各会場からの報告など

第二部 連絡会： 2011年度の業務概要
 ……2011年度の運営方針についての意見交換など

申込・問合せ ※事前にお申し込みください。

申込事項：
 ①お名前、②ご所属、③ご連絡先(お電話、メールアドレスなど)
 申込先：
 特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム
 TEL: 03-3654-7240 FAX: 03-3654-7256
 E-mail: renraku@cleanaid.jp

秋のクリーンエイド2010 実施速報

秋のクリーンエイドは78会場を実施、3,200袋以上のゴミを回収

荒川クリーンエイド2010では、9月から12月までの期間に、86会場が実施が予定され、雨天等中止が8会場あったものの78の会場でクリーンエイドが実施されました。

■延べ約30kmを清掃

流域各地でクリーンエイドが実施された範囲は、川沿いに延べ約30kmとなり、約3,200袋の散乱ゴミ、550件の粗大ゴミが回収されました。

今年初めてクリーンエイドに取り組まれた企業・団体も多く、12団体(13会場)が新たに参加されました。

■ペットボトル調査で、お茶類がワーストNo.1

また、近年急増しているペットボトルゴミに着目して、今年初めてペットボトル調査に取り組み、52会場調査を実施し、その数を報告いただきました。多くの団体の皆さまの調

査ご協力ありがとうございました。

ペットボトルは、ゴミ袋数では全体の約1/5を占めました。また、種類別に調査した結果、ペットボトルで一番多かったのはお茶類で、種類が判明したものの約1/3となりました。

ゴミの状況・変遷、ペットボトル調査などの各種調査報告は「荒川クリーンエイド2010 報告集」(2011年3月配布予定)などで報告します。



ペットボトル調査

【秋の荒川クリーンエイド2010実施速報一覧】

(*は未調査)

	実施団体名	実施市区	実施日	参加者数 (子ども)	ゴミ袋数	粗大 ゴミ数	地点 No.
1	NPO法人秩父の環境を考える会	秩父市	10/17	52(11)	28	0	1
2	秩父子どもエコクラブ(秩父教育懇話会)	長瀨町	9/12	29(25)	3	1	2
3	NPO法人熊谷の環境を考える連絡協議会	熊谷市	11/7	1452(341)	1550kg	300kg	3
4	鴻巣の環境を考える会	鴻巣市	11/23	5(0)	20	7	4
5	鴻巣の環境を考える会		11/23	16(0)	30	11	5
6	鴻巣の環境を考える会		11/23	12(0)	22	18	6
7	ふれあい市野川クリーンアップ作戦協議会	東松山市	11/13	550(190)	5t	*	7
8	NPO法人荒川流域ネットワーク	川島町・鶴ヶ島市	11/28	20(0)	28	0	9
9	NPO法人荒川の自然を守る会	上尾市	12/5	29(0)	26	16	10
10	大谷川クリーン大作戦実行委員会	鶴ヶ島	10/17	35(0)	7	0	13
11	大谷川クリーン大作戦実行委員会		10/17	12(0)	19	0	13
12	大谷川クリーン大作戦実行委員会		10/17	24(0)	27	0	13
13	NTT東日本埼玉グループ	川越市	11/7	64(4)	50	1	14
14	NTT東日本埼玉グループ	さいたま市	11/7	100(3)	75	0	15
15	ダイエーグループ		11/13	145(19)	24	70	16
16	不老川川づくり市民の会	狭山市	10/10	雨天中止			17
17	黒目川クリーンエイド実行委員会	東久留米市	10/24	46(6)	15	1	19
18	(財)埼玉県生態系保護協会 戸田・蕨支部、戸田市河川課、荒川夢クラブ	戸田市	11/14	49(2)	28	27	20
19	川口市建設部建設管理課	川口市	10/31	雨天中止			23
20	(財)埼玉県生態系保護協会 川口支部、かわぐちっ子荒川クラブ		10/23	28(8)	27	2	25
21	(株)ファミリーマート	板橋区	11/6	12(0)	4	2	26
22	いたばし野鳥クラブ、板橋区緑と公園課		10/31	56(6)	32	18	28
23	板橋グローブクラブ		11/7	23(14)	3	1	28
24	都立桐ヶ丘高等学校	北区	11/2	90(0)	38	3	29
25	北区水辺の会		10/16	35(21)	34	10	30
26	北区水辺クラブ		11/13	2(0)	3	0	30
27	北区		10/17	350(100)	132	9	31
28	ボーイスカウト東京連盟 城北地区 北11団	足立区	9/19	18(10)	6	0	32
29	尾久の原愛好会		10/24	10(2)	6	0	34
30	荒川区教育委員会社会体育課		10/24	350(300)	41	3	34
31	荒川区立赤土小学校【NEW】		11/19	31(29)	19	11	35
32	日本サムスン デザインチーム		10/16	18(2)	35	3	35
33	日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)【NEW】		11/12	18(0)	15	1	35
34	日興コーディアル証券(株)【NEW】		11/21	37(4)	86	12	35
35	三井住友海上メットライフ生命保険(株)		10/23	58(24)	23	2	35
36	荒川区教育委員会社会体育課		10/24	5(0)	3	0	37
37	台東区教育委員会青少年スポーツ課・台東区少年野球連盟・台東区少年サッカー連盟		10/9	48(43)	5	2	38
38	(株)日立ビルシステム		10/9	雨天中止			39
39	日興コーディアル証券(株)【NEW】		11/21	64(10)	77	29	39
40	NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム		9/25	34(0)	18	14	40

	実施団体名	実施市区	実施日	参加者数(子ども)	ゴミ袋数	粗大ゴミ数	地点No.
41	足立区立寺地小学校	足立区	10/13	60(56)	25	0	42
42	足立区、足立区あらかわ市民会議		10/31	雨天中止			43
43	足立成和信用金庫		10/2	186(5)	60	0	44
44	足立区、足立区荒川ビジターセンター		10/31	雨天中止			44
45	東京白鷺・城北・西新井・足立中央ライオンズクラブ		10/31	雨天中止			44
46	東京城北ライオンズクラブ		12/12	12(0)	12	6	44
47	あらかわエコフレンド	荒川区	10/17	16(4)	24	11	45
48	隅田川市民交流実行委員会	台東区・墨田区	10/9	22(2)	8	0	46
49	荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区	葛飾区	10/24	89(72)	38	4	47
50	荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区		10/24	129(114)	50	1	49
51	DKWBS		10/31	17(0)	33	5	50
52	クレディ・スイス証券(株)【NEW】		10/30	雨天中止			51
53	(株)藤商事		11/6	63(2)	35	5	52
54	一般社団法人東京損害保険代理業協会		10/16	58(1)	41	2	53
55	(株)エックスワン	墨田区	11/13	61(0)	93	10	55
56	墨田区、ライオン(株)		11/13	100(60)	70	0	56
57	一般社団法人建築ビジョン【NEW】		10/23	34(2)	80	5	57
58	すみだエコクラブ【NEW】		10/31	雨天中止			57
59	ブルームバークL. P.		12/16	28(0)	70	9	57
60	松山油脂(株)		10/16	54(4)	52	16	57
61	ローソングループ	江戸川区	11/7	110(31)	62	28	59
62	下平井水辺の楽校		10/17	53(8)	33	15	60
63	江戸川区立平井小学校		10/13	50(40)	7	0	60
64	江戸川区立小松川小学校		10/26	73(69)	14	0	60
65	江戸川区立平井東小学校		12/1	48(46)	26	9	60
66	小松川平井連合町会		11/14	1000(300)	*	*	60
67	小松川信用金庫【NEW】		11/6	74(1)	95	11	61
68	江戸川・生活者ネットワーク、ガールスカウト215団、三井ボランティアネットワーク事業団		11/7	37(15)	42	10	61
69	明誠監査法人【NEW】		10/8	22(0)	23	7	62
70	ブルームバークL. P.		10/7	10(0)	18	4	62
71	JAMBO INTERNATIONAL CENTER		10/31	15(1)	42	6	63
72	ジョンソンコントロールズ(株)【NEW】		10/23	45(10)	37	10	63
73	島村運輸倉庫(株)		11/20	92(5)	72	25	63
74	シティグループ		10/23	25(3)	42	20	64
75	日本クラフトフーズ(株)【NEW】	10/7	62(0)	69	17	64	
76	中土手に自然を戻す市民の会	11/21	14(1)	15	17	65	
77	江戸川区立大杉小学校	10/15	135(115)	6	0	65	
78	ふるさと清掃運動会実行委員会【NEW】、NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム	11/6	400(30)	445	48	66	
79	江戸川ケーブルテレビ(株) (J:COM江戸川)【NEW】	9/5	232(50)	102	6	67	
80	江戸川区土木部計画課、NPO法人えどがわエコセンター、いきごみクラブ	11/7	25(0)	46	0	67	
81	葛西東渚・鳥類園友の会、日本野鳥の会東京、都漁連内湾漁協、NPO法人えどがわエコセンター	11/9	120(1)	230	15	68	
82	西なぎさ発: 東京里海エイド	9/18	20(0)	16	2	72	
83	西なぎさ発: 東京里海エイド	10/23	34(6)	3	0	72	
84	西なぎさ発: 東京里海エイド	11/20	31(3)	6	1	72	
85	江東区土木部水辺と緑の課	江東区	10/9	37(1)	75	1	69
86	江東エコリーダーの会		11/3	38(13)	20	3	71
計				7658(2245)	3246	603	



小松川自然地連続プログラムのご報告

～民間企業や地元市民団体等による外来種やヨシ原の除草、自然環境教室の展開～

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、2010年9月から11月にかけて、小松川自然地において、外来種やヨシ原の除草、及び自然地に生息する生き物について生態系の理解を図る自然環境教室を実施しました。

本活動は、外来種の除草やヨシ刈り、自然環境教室などの市民活動を通して多くの人々に荒川の自然環境の現状を理解してもらおうとともに、荒川に関心をもってもらうことを目的としています。



小松川自然地は都営新宿線「東大島駅」より徒歩数分の場所に位置し、都内からのアクセスも良く、小松川千本桜などの観光名所も隣接し、多くの人々に親しまれています。

2010年の実施概要

外来種やヨシ原の除草については草刈ばさみを使います。

自然環境教室については、草刈りの前後に、子どもを主対象としたプログラムとして実施し、生き物のモニタリングも行います。これらを通じて小松川自然地の総合的な管理を行っていくものです。

<2010年度の活動概要①一般の方々にご参加いただいたプログラム>



1. 小松川自然地の生き物観察～秋の昆虫をみつけよう！

- 1) 日時: 10月23(土) 13:00～14:30
- 2) 内容: 秋の鳴く虫を観察するとともに、河川敷での植生との関わりを探索しました。
- 3) 参加者: 大人10名、子ども12名

2. 荒川で草刈り体験 ～外来植物大そうじ大作戦！～

- 1) 日時: 11月7(日) 13:00～14:30
- 2) 内容: セイタカアワダチソウなどの外来植物の除草に加え、投網を使った魚の学習
- 3) 参加者: 大人22名、子ども12名

3. 荒川で草刈り体験！～カマやハサミで草刈隊～

- 1) 日時: 11月20(土) 12:50～14:30
- 2) 内容: 主にヨシ原の除草を行い、翌年、元気な新芽を出すよう促しました。
- 3) 参加者数: 大人37名

<活動概要②学校や民間企業が独自に行った活動>

1. 9/21(火)小松川小学校 (児童67名、教職員2名、保護者6名が参加)
2. 10/7(木)日本クラフトフーズ株式会社 (社員66名が参加)
3. 10/8(金)明誠監査法人 (社員22名が参加)
4. 10/23(土)ジョンソンコントロールズ株式会社 (社員45名が参加)



ヤマトオサガニ 干潟に巣穴を掘って暮らしています。求愛するときに炭坑節を踊るようにハサミを動かします。

トビハゼ トビハゼは、絶滅が危惧されている希少種。一時東京湾から姿を消しましたが、最近戻りつつあります。

オオヨシキリ 5月のはじめに渡って来て営巣する夏鳥。ヨシ原に留まってギョギョシ、ギョギョシと縄張り宣言をします。

クロベンケイガニ ヨシ原など、川岸の泥の穴に棲み、泥に含まれる有機物を食べることで、川をきれいにしています。

自然環境教室の様子

子どもたちのアンケート結果から読み取れる活動の成果

- ・外来種だけでなく侵略性の高いつる性植物についての新たな学び
- ・トビハゼが生息していることへの驚き
- ・リンや窒素を吸って大きくなるヨシの理解
- ・植物や生き物と触れ合うことで遊べる新たな楽しさへの気づき



干潟教室



魚教室



昆虫教室



植物教室

外来種の除草及びヨシ刈りの様子

管理を行うに当たって／今後の予定

- ・いったん人が手を入れた自然は、定期的に草刈りを実施するなどの維持管理をしなければなりません。これらの効果は、数年間調査していく必要があります。
- ・在来種のみならず外来種を含めて荒川には然るべき生態系が既に形成されています。これに配慮し、慎重に生態系を取り戻していくことが重要です。
- ・2011年度も小松川自然地では、本活動を継続する予定です。



[before]

外来種の除草



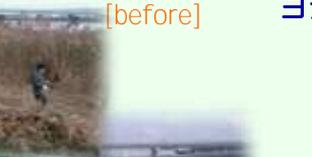
[after]



[before]

ヨシ刈り

[after]



[刈り取った草]

定期的な維持管理にはボランティアの力が必要とされています。皆さまのご支援をお待ちしております。

[ヨシを刈ることで、拾えなかったゴミが出てきた]

秋の
クリーンエイド
会場から

実体験を通じて、環境問題を理解する機会に

NEW 日本クラフトフーズ(株) 水上 みさ さん

2010年10月7日に、日本クラフトフーズ(株)の社員約60名が、荒川クリーンエイドの活動に参加しました。これは、親会社のクラフトフーズが全世界で実施しているボランティアウィークの一環として日本で展開されたプログラムの一つとして実施されました。

まず、ゴミを種類ごとに集計しながら拾った後、今回荒川クリーンエイド・フォーラム様に初めてご企画いただいた外来種「セイタカアワダチソウ」の草刈りに取り組みました。



ゴミ拾いでは、一時間ほどの間に45リットルのゴミ袋69袋分のゴミを拾いました。そのうち22袋はペットボトルで、参加者の中から、ペットボトルのゴミを出さないようにマイボトルを持ち歩きたいという声が出ました。

草刈りでは、力強く生い茂っているセイタカアワダチソウを目にすることで、外来種の問題を実感しました。瞬く間に刈り取られたセイタカアワダチソウの山が築かれました。

参加した社員からは、「ゴミの種類の多さ、外来種の生命力に驚いた」、「継続して実施することが大事だと思った」などの感想が聞かれ、環境問題について実体験を通じて理解を深める貴重な機会となりました。またチームとして取り組むことで、連帯感や達成感を得ることができ、社内のコミュニケーションの活性化にもつなげることができました。

今回、弊社として初めての参加でしたが、企画から実施までお世話になった荒川クリーンエイド・フォーラムの皆様、ありがとうございました。

当会と連携し、はじめてクリーンエイドと併せて外来種の除草を実施した企業さんです。名古屋での生物会議が開催されることも踏まえ、先駆的に実施いただきました。
(荒川クリーンエイド事務局より)

秋の
クリーンエイド
会場から

自然に支えられていることへの気づき

NEW 明誠監査法人 武田 剛 さん

平成22年10月8日(金)に荒川クリーンエイド・フォーラムさんが主催する荒川クリーンエイドの河川敷のゴミ拾いと外来種植物の草刈りに参加しました。明誠グループは、積極的に社会貢献活動に参加することで社会の一員として、よい社会を築き支える手助けができればと考えています。また、活動の学びによりスタッフの心を育み、豊かな人格形成がなされることで人生を豊かにすることのできる価値観を培ってほしいという思いがあります。

物質社会の中で生活していると、人は自然に支えられてい



るということを忘れがちになります。そんな時に社会貢献活動に参加して汗を流し、自然のためにできることを一生懸命行っていると沢山の気づきがあります。荒川クリーンエイドの活動でも沢山の気づきがありました。

ゴミを数えながら拾う活動は、ただきれいになるだけでなく、なぜこのゴミはここにあるのだろうか？どうすればゴミが捨てられなくなるのだろうか？など、一人一人が何かに気づきかけを与えてくれる、とても有意義な体験になりました。

ゴミ拾いの後は、河川敷に生い茂る外来植物を刈り取りました。人の手で何気なく持ち込まれた外来種により、植物の生態系が壊されている現実がありました。

この度、改めて人と自然には共存関係があり、人の何気ない行動が自然にとって大きな傷となることも学びました。このような活動の場を提供してくださった荒川クリーンエイド・フォーラムのみなさんにはとても感謝しています。

Non PRポリシーで自発的な社会貢献活動を志す監査法人さんです。社員の会社満足度アップの一環として本活動を企画いただいた代表社員の方に大変感謝しています。
(荒川クリーンエイド事務局より)

秋の
クリーンエイド
会場から

各自が次の行動を起こすきっかけに

NEW ジョンソンコントロールズ(株) 遠山 千景 さん

10月23日(土)、ジョンソンコントロールズ社員有志とその家族計45名で、荒川河川敷の清掃活動ならびに外来植物の除草作業を実施しました。

「より快適に、安全に、そして持続可能な世界」をビジョンとして掲げる当社は、社員による地域社会と環境保護に焦点を当てたボランティア活動を支援しています。今回の活動もその一環として行われました。

清掃活動では、ペットボトルのゴミの多さを実感するなど、



現在のライフスタイルを反映したゴミ問題に気づいたり、驚くほどの量のゴミを実際に拾って体験することで、各自がゴミ問題について考え、次の行動を起こすためのよいきっかけになりました。

また、外来植物の除草作業も行いました。30年前の荒川は一面ススキやオギなどに覆われていたそうですが、現在は外来種であるセイタカアワダチソウが約90%を占めるまでに繁殖しています。今回はこの外来種を除草する場所と、しない場所を設けて除草作業を行いました。今後生態系に与える影響の検証に役立てられます。

好天にも恵まれ、仲間同士で協力しながらのボランティア活動は思った以上に気持ちのいいものでした。参加者の横顔は一律に充実感で溢れていました。今後も実施団体として継続的に活動を行い、環境配慮の輪を広げていきたいと思えます。

同社の世界的なボランティアプログラムの一環として実施いただきました。当会の活動支援に加え、従業員のリーダー育成を主目的に今後もご参加いただきたいと思います。
(荒川クリーンエイド事務局より)

秋の
クリーンエイド
会場から

身近なところから環境アクションを起こそう！

NEW ふるさと清掃運動会 事務局 亀山 久雄 さん

著名人からなる「富士山大好き！百人の会」が、“富士山から日本を変える”を合言葉にふるさとの山や川、海、湖沼、町など身近なところから環境アクションを起こそう！と全国の市民、学生、企業に呼びかけて4年目の秋となります。



ます。

今年も全国すべての都道府県360か所で、3万人を大きく超える人たちが清掃活動を中心にさまざまな環境アクションに取り組みました。第4回までの参加者数は10万人を超え、賛同する企業や市民団体は

増え続けています。

今回は、若洲海浜公園で昨年行った「東京湾岸大清掃作戦」の第2弾として「ふるさと清掃運動会 in 荒川」を、地元のNPO法人荒川クリーンエイドフォーラムと共催で行いました。予定日の10月30日は台風直撃のため11月6日に順延、参加者は当初の見込み数の約半数400人となりましたが、荒川河岸の葦に入り込んでいる様々なゴミを回収、東芝ソリューション(株)は新入社員を大量に送り込んで社員教育の場とするなど楽しい運動会となりました。

48種類ものゴミの分別・調査や「ふりかえり」など、荒川クリーンエイドフォーラムとの共催で様々な教訓を得ました。また、佐藤代表理事の荒川にかかる篤いロマンやそれを献身的に支えて活動する事務局長と職員のみなさん、ほんとうにいいチームです。今後ともよろしくお願い致します。

若い学生ボランティアさんたちが中心となって、準備に準備を重ねて当日を迎えてくれました。安全への配慮と様々な工夫で、大人数の皆さんに気持ちよく参加いただくことができました。
(荒川クリーンエイド事務局より)

秋の
クリーンエイド
会場から

ボランティア意識の高まりと、ゴミ収集以上の満足感

NEW 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株) 経営企画室CSRチーム 三浦 哲 さん

今回は18人の参加人数でしたが、僅か1時間程のゴミ収集活動で14袋ものゴミが集まった結果に、あらためて荒川河川敷のゴミの多さに皆一様に驚きました。自然環境に対して人間の生活が如何に影響を与えているかという事を実感でき、参加者メンバーからは『どうしてここにこんなゴミが落ちていんだろう？ どうしてもっとリサイクルできないのか？ どう

したら河川をもっときれいにできるのだろうか？』等の活発な意見が出ました。また水質検査も非常に興味深く観察している状況から、水の大切さをあらためて感じました。

今回参加された方は、会社の社会貢献活動の一環としての活動と認識をされていましたが、ゴミ収集が終了した後は、『参加者自身へのボランティア活動として今後は臨みたい』という気持ちが伝わってきて、ゴミ収集以上の満足感が得られた事が大きな収穫でした。

今後この活動を継続すると共に、自然環境の汚染や破壊の現状を社会に伝える事の重要性を強く感じました。荒川に限らず全国のクリーンエイド活動を文化として定着させて、地球規模へと広がる事を期待します。



昨年までは、別団体さんの会場に参加されていましたが、今年初めて日本ケンタッキー・フライド・チキンさんに独自で実施いただきました。このように輪が広がっていくのを嬉しく感じています。
(荒川クリーンエイド事務局より)

秋の
クリーンエイド
会場から

清掃活動と自然環境教室で、ゴミと生物多様性への気づき

NEW 日興コーディアル証券(株) 広報部

日興コーディアル証券では、今秋から「Green Week」という環境保全・社会貢献活動強化期間を設けています。これは、社会貢献活動への実際の参加を通じて、環境保全への理解を深めながら、地域社会や参加者同士のコミュニケーションを図ることを目的とするものです。

今回の荒川クリーンエイドは、そのプログラムの一つという位置

づけで、荒川クリーンエイド・フォーラムの方々のご協力のもと、千住新橋上流と西新井橋上流の2会場で開催しました。

活動現場は遠くから見ているのと違い、家庭ゴミやペットボトルなどが散乱していて、その量や種類の多さに驚かされました。個人ではなかなか難しい活動も一致団結して取り組みれば、多くのゴミを回収することができ、また、ゴミを捨てないという一人一人の心がけが大切だと再認識することができました。

清掃活動後に開催された自然環境教室では、フィールドサイン(動物たちの生活痕)の説明を受けた後に清掃活動場所でのサインを探したり、草笛を習ったりと、子供はもちろん大人も童心に返って楽しく過ごしました。特に子供と一緒に参加した社員からは、ゴミの問題ばかりでなく、生物多様性の問題、社会的な問題など子供にとって大変勉強になり、帰宅してからも子供とたくさん話げできたと好評でした。

このような地道な活動を続けてこられた荒川クリーンエイド・フォーラムの方々のご協力に感謝するとともに、いろいろな気づきにつながる活動を今後も続けていきたいと考えています。



初参加にも関わらず、多くの参加者を募り、2会場で実施いただきました。窓口になっていただいた広報部さんの献身的なご対応には感銘を受けました。
(荒川クリーンエイド事務局より)

9/11・12

荒川源流エコツアー 報告

荒川の源流・埼玉県秩父市大滝を訪れて

流域連携

9月11、12日荒川源流エコツアーを実施しました。11日は、NPO法人もりと水の源流文化塾代表山中進さんの案内で、普通ではなかなか見ることのできないニッチツ鉱山(現在も良質の石灰岩を産出している)を見学し、午後は原生林の散策とかつて材木を運び出すために使われた鉄砲塚の実演を見学しました。夜は、森林科学館研修室で上下流交流。秩父市環境立市推進課大野課長と、ふるさと東京を考える実行委員会の田中事務局長から、それぞれの問題提起を受けて交流、討論しました。



12日は、民宿中津屋でこんにやく作りを体験し、雁坂峠に近いドライブイン「雁坂茶屋」で鹿肉ロースト付きの昼食と、千島茂元村長の「お話」、午後は「秩父往還」の栃本関所跡の見学と、最後に二瀬ダムの見学ではダムのはきだし口までエレベーターで降りて説明を受けました。参加者15名(小中学生2名)とスタッフ3名、お天気にも恵まれ、2日間目いっぱい「荒川源流」の自然と歴史を楽しみました。



荒川区立赤土小学校 報告

環境学習

11/26 クリーンエイド + ワークショップで
人とゴミ、ゴミと動植物の関係を学ぶ

子供たちは、総合的な学習の時間で自然破壊や発展途上国の現状、エネルギー問題などについて考えてきました。そこで見えてきた「持続可能な社会」。人と動植物が共存している里山の生活の一部(無農薬のお米や野菜を作り、なめこのコマ打ち)を体験しました。今…自分たちができることを考え、登下校時にゴミ拾いをしています。今回の荒川クリーンエイド作戦では、体験を通して、身近な自然(植物や昆虫)の存在に気づき、荒川の現状を知ることができました。ゴミ拾い体験後には、「ゴミが生き物に与える影響を考えるワークショップ」を行い、人とゴミ、ゴミと動植物の関係を学べたことも貴重な学習となりました。2、3月には、子供たちが中心となってクリーンエイドをする予定です。



(江崎 淳一 先生)

江戸川区立平井東小学校 報告

12/8 クリーンエイド + ゴミや汚れを
出さない街づくりワークショップ

平井東小学校5年生は、クリーンエイドと水質調査から水質汚濁などの社会問題につなげる学習に取り組んでいます。その中でこのワークショップを行い荒川クリーンエイド・フォーラムが支援しました。川のある架空の街のマップに工場や公園などを配置し、ゴミや汚れを出さない、生き物と共生する街を考えるというものです。リサイクル工場、ゴミを肥料として活用、看板の設置、子どもたちが日常的に川のゴミを拾うしくみなどなど、さまざまな



アイデアがちりばめられたマップが出来上がりました。

荒川いきもの四方山話

荒川に行くと見られる動植物、思わず荒川に行ってみたくなる生き物たちの話題を毎号お届けしています。

冬のオモシロ自然観察 ～生き物の痕跡を探そう！～

冬は生き物も少なく寒いし、荒川河川敷に行くのはおっくうだなあと思っている方もいらっしゃると思いますが、なんのなんの。冬は冬で楽しめる要素はたくさんあります！何かあるのか、ですって？フィールドサインですよ！生き物がそこにいた、生き物の暮らしの痕跡です。足跡、食痕、羽、抜け殻、卵などたくさんあります。確かに、それだけを見ていてもあまり楽しくはないかも…では、楽しめる方法をご紹介します！

まずは、荒川に行ってください。そして、辺りを見てみてください。これは何？と思ったフィールドサインを、名探偵になったつもりでよく観察して下さい。そして、「5W1H」を使って謎を解いて下さい。例えば、右の写真。水辺に何かの破片と足跡があります。「ある夏の昼下がり、水辺を歩いていた○△が、ちょっとボケ～っとしていたら、大きな×○□にちよっかいを出された。びっく



りした○△は殻を×○□に投げつけて、ひるんだ隙に逃げ出した。落ちてるのは○△の殻、足跡は×○□のもの、と我輩は推測したのだ！」といった具合に推理してみてください。お子さんと楽しむもよし、あるいは、冬場の自然観察会で推理ゲームとして行ってみてください。珍回答が出ると思いますよ！

ちなみに、写真の正解は、足跡は水鳥で、水かきの跡がないことから推測するとサギの仲間。落ちてるのはアメリカザリガニの殻。サギがアメリカザリガニを食べた跡と推理できます。

さあ、虫眼鏡を片手に名探偵の気分になって「事件は荒川で起きている！」と心の中でそっと叫んで荒川に急行してください！（自然案内人 橋本 浩基）

荒川市民パトロール隊の活動支援 報告 市民の力でよりよい荒川を目指す

「荒川市民パトロール隊」は日頃、自然観察、スポーツ、散策などで荒川を訪れた時に気づいた様々な情報などを荒川上流河川事務所、荒川下流河川事務所に連絡する活動を行っています。また、ご自身がお持ちの荒川での計画や整備などに対する意見や要望、質問なども出来ます。定期的に河川を巡視したり不法行為に対し直接注意や指示を行うなどの特別な責任や権限は無く、気軽に無理なく安心して行える活動です。

荒川クリーンエイド・フォーラムは、荒川市民パトロール隊員の荒川下流部での活動を支援しています。今年度は「荒川市民パトロール隊News」を編集し隊員の方々に様々な情報の提供を行い、新たな取組として、「ゴミの不法投棄」、「自転車の走行スピード」、「堤防、高水敷の除草」、「自然地の利用のされ方」などのテーマ別連絡様式を用意し積極的に隊員から情報の収集を行っています。併せて隊員よりゴミの投棄や水辺の住人のことなど様々な情報をいただき、荒川下流河川事務所にそれらを報告しています。



寄付・協賛 ご支援ありがとうございました！

★ユーピーエス・ジャパン株式会社様より寄付金をいただきました！ 11月19日、贈呈式が行われ、同社代表取締役社長の梅野様より当会代表理事の佐藤へ小切手が渡されました。本寄付金は、ゴミのない社会を創造する循環型社会創造基金、活動全体を普及させる普及啓発基金に使用されます。

【UPS基金について】

1951年創設され、米国ジョージア州アトランタに本部をおいています。UPS基金は、社会問題の解決に貢献する活動への支援を行い、特に飢餓や文盲撲滅に対する支援やボランティア精神の促進に力を入れています。



ご支援をお願いします！

荒川クリーンエイドでは、皆さまから寄付のご支援を募っています。いただいた寄付金は、クリーンエイドのより一層の充実、学校教育支援の徹底、広報ツール整備といった活動に使わせていただく予定です。ご支援をお待ちしています。

＜寄付金のお振込先＞

【郵便振替の場合】
郵便振替口座番号：
00110-6-368041
名義：荒川クリーンエイド・フォーラム

【銀行振込の場合】
銀行：三菱東京UFJ銀行 小松川支店
口座：普通預金・口座番号0768162
名義：特定非営利活動法人
荒川クリーンエイド・フォーラム 理事 佐藤 正兵

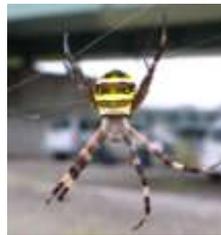
荒川クリーンエイド周辺(生物)調査 速報 クルマサヨリの確認で水質改善か

荒川クリーンエイドでは、クリーンエイド(ゴミ拾い・ゴミ調査)と併せて、生物を中心とした周辺調査を実施しています。ゴミ拾いによって取り戻そうとしている荒川の自然環境を市民の視点で見て行こうとするものです。今年度は荒川下流13会場で実施しました。

魚類では、ここ数十年東京湾から姿を消していたクルマサヨリが昨年、今年と確認され、荒川の水質が改善されつつあることがうかがわれます。

また、自然度がある程度高いところに生息するコガネグモ、ウラナミシジミなどが数地点で確認されたことも注目されます。

詳しくは、荒川クリーンエイド2010報告集をお楽しみに！



↑クルマサヨリ 東京湾から姿を消したと言われていたが、最近戻って来た。

←コガネグモ 黒と黄の幅広い縞模様が特徴。ナガコガネグモより数が少ない。

★クレディ・スイス証券株式会社様より寄付金をいただきました！

○寄付金の贈呈 11月22日、贈呈式が行われ、同社債券本部の皆さまより当会事務局長の糸岡へ寄付金が渡されました。本寄付金は、債券本部の若手社員を中心に、同部門約100名の方々から寄付を有志で募っていただいたものです。

○荒川クリーンエイド2010への協賛 10月30日に予定されていた活動が雨天のため残念ながら中止となりました。上記寄付と併せて何とか今年度の当会の活動を盛り上げてもらいたいと債券本部の社員様より御心遣いをいただいたものです。

【債券本部について】

クレディ・スイスの債券部門は、グローバルなネットワーク、金融商品に関する高い専門性を有した人材を揃え、日本国内外の金融機関、事業法人、政府関連機関などの機関投資家の皆様に金融商品を提供しています。



★小松川信用金庫様より荒川クリーンエイド2010への協賛を追加でいただきました。

荒川クリーンエイド2010ニュース No.3

2011年1月10日発行

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム
〒132-0033 東京都江戸川区東小松川3-35-13-204
TEL 03-3654-7240 FAX 03-3654-7256
http://www.cleanaid.jp/ Eメール renraku@cleanaid.jp